

令和7年度 第1回学校運営協議会 記録

日時

令和7年6月20日（金）14:45～15:45

場所

会議室

出席委員

倉田慎一委員（校長）

向谷朱美委員

牧野桃子委員

稲葉奈津子委員

諏訪理恵委員

出席職員

倉田慎一委員（校長）

原晶子副校長

水本由紀子教頭

大根田英雄総括教諭

鈴木のり子総括教諭

並木慎也総括教諭

相川真由美総括教諭

原光平教諭

1 学校長挨拶

- ①本日はよろしく申し上げます。
- ②4月に入学式を挙行了した。
- ③遠足を実施して生徒同士の親睦を深めた。
- ④6月6日に体育大会を実施した。
 - ・生徒は自主的に応援合戦の練習をした。
- ⑤本校はプログラム教育推進校だ。
 - ・現在は4期目であり、通算すると12年目になる。
 - ・これまで得られた知見を発信したい。
- ⑥気品と誇り（校歌の中では気高さと誇り）を大切にする。
- ⑦生徒が勉強したくなる授業を目指す。
- ⑧働き方改革に関わる本校の指針を参考資料で示している。

2 出席者及び本校職員 紹介

3 学校運営協議会の組織と委員について

4 学校運営協議会委員の委嘱

5 会長及び副会長の選出

6 協議事項

(1) 令和7年度学校運営協議会の組織と構成について

(2) 令和7年度学校目標について(資料6 p.11～p.12)

[鈴木総括]

- ・プログラミング的思考の振り返りとして、生徒が10の技法をどの程度身につけたか見取るのは困難なので、アンケートで定点観測を行う。
- ・生徒による授業評価については、項目の1、3、5、8は昨年と同様であり、項目の4及び9は1項目ずつ追加する。

[並木総括]

- ①頭髪服装指導を継続的に粘り強く指導する。
 - ・今年度の現状では、頭髪に関するトラブルは起きていない。
- ②交通事故防止のマナーを徹底する為、神奈中バスを学校へ呼んで指導を行った。
- ③SC及びSSWを目一杯に活用して生徒を支援している。

[尾崎総括]

- ①部活動加入率の目標は40%であり、4月時点では42%である。
- ②学校外部でのクラブ加入者は40名であり、特にダンス関係が多い。
- ③クラブの地域移行が進んでいる。

[相川総括]

- ①西浜高校の36ヶ月のキャリア教育は、高校生活の3年間を見据えた計画である。
- ②自己理解や自己探究のため、全学年でポートフォリオを使って振り返りをしている。
- ③9割近い生徒が進学を希望しているが、1人ひとりの進路の実現を学校全体で支える。

[大根田総括]

- ①地域との協働は4年間での目標としている。
 - ・地域から信頼されるように1年目はPTAを含めた活動を活発化させる。
- ②マチコミを活用して、保護者とのこまめな連絡を図る。
- ③サポーター制度では、PTA会費から1人500円程度の支払いをして、積極的に来校してもらえるように努める。

[鈴木総括]

- ①全公立展では、始まって直ぐに西浜のブースに走って来る中学生がいた。
 - ・西浜高校の36カ月、プログラミング教育、部活動、交通機関に関する質問が多かった。
- ②学校説明会に関しては8月の申し込みと同時に10月の申し込みを選べるように変更した。
- ③広報活動に力を注ぐ。

[大根田総括]

- ①学校管理学校運営についてはPTAと生徒が一体となる必要がある。
- ②花壇周りの整備を行った。
 - ・昨年度、久々に生徒からのボランティアがあった。
- ③月に1度、PTAから登校指導をお願いしている。
- ④野球部や吹奏楽部が地域のお祭りに参加している。

[副校長]

- ・学校目標に対する質問はあるか。

[稲葉委員]

- ・自己肯定感に関わるアンケートは素晴らしい。
 - ー毎年の改善がなされている。
- ・自己肯定感の上げ方、面談やコーチングの仕方を企業側と学校と一緒に出来たら良い。

[向谷委員]

- ①自転車登校に関して地域から意見が挙がっている。
 - ・以前よりも自転車で暴走する生徒は減っている。
 - ・本来は交差点で道路を横断すべきであるが、交差点の手前で横断している。
- ②地域の行事では、生徒が生き生きと活動しているのが分かる。
- ③校外では部活動のジャージを着ているので、西浜の高校生なのか分からない。
- ④PTAの登校指導はどのようなことをしているのか。

[諏訪委員]

- ・学校の周りやランチ周辺の指定箇所立ち、朝に注意喚起のプラカードを持って生徒へ示している。

[校長]

- ・目立つ色のプラカードを使って、通学中の生徒へ分かりやすく示している。
- ・危険な要所に人員を配置している。

[向谷委員]

- ・細い道が多いので、広がって通学をしないように生徒に気をつけさせたい。

[牧野委員]

- ・学校管理学校運営に関わることで、学校と地域のお互いにとって良い連携とは何か。
－連携したら働き方改革に繋がらなかった、というのは良い連携とは言えない。

[諏訪委員]

- ・生徒の体調面では、なかなか学校に来られない生徒に対する支援をしたい。
- ・交通事故防止に関しては、来年度から更に協力を強化したい。
－交通ルールを西浜祭で掲示したいと思う。

[副校長]

- ・学校評価については、3月に皆さんからの評価をいただく予定である。

(3) 授業参観に係る感想及び意見について

[向谷委員]

- ①教員は電子黒板と黒板の両方を使っており、更に紙も上手に扱っている。
 - ・電子黒板にカラーの文字があると、それに対応した紙媒体の文字も見やすくなる。
- ②午後の授業も生徒はよく起きている。
- ③授業中に教員は大きな声の時と、そうでない時を使い分けられている。
- ④教室によって暑さや寒さが違い、また長袖を着ている生徒が多かった。
- ⑤ハンディファンは校則的に許可されているのか。

[牧野委員]

- ①西浜生への最初の印象は、人懐っこい生徒だと思った。
 - ・雰囲気の子供が多かった。
- ②電子黒板でなく、大型画面だと思っていた。
 - ・市内の小中学校は大型画面なので、画面に直接書き込むことは出来ない。
- ③教室環境は視覚的に邪魔になる物が少なかった。
- ④ポツポツと欠席の生徒が多かったので、スタディサプリを導入することで、個々の学びの保障や、学び直しといった支援を行うと良い。

[鈴木総括]

- ①西浜高校の36ヶ月では、高校1年生までが学び直しの期間となっている。
- ②教員は最後まで熱心に生徒を支援している。
- ③出来るようになったと喜ぶ生徒も増えてきている。
- ④学校を休んでいる生徒にはSCやSSWを薦めている。
 - ・クラスルームやスタディサプリを活用して教員から取り組み状況が分かるように課題を出している。
 - ・学校を欠席してもフォロー出来る体制を整えている。

[稲葉委員]

- ・生徒に小中学校の学習内容が定着すると、高校の学習範囲が分かるようになる。
－学習内容を追い掛けている西浜高校は手厚い支援をしている。
－例えば高校1学期で中1の復習を朝学活で行うと良い。
- ・スタディサプリで単位認定をする学校も横須賀市に存在する。

(4) その他

7 部会

- (1) 学校評価部会
- (2) 地域連携部会
- (3) 学習支援部会

[副校長]

- ・初回のため、部会には分かれる。
- ・地域、或いはPTAとして学校に期待することは何か。

[諏訪委員]

- ・子どもたちが楽しんで生活し、楽しんで学ぶことが一番だ。

8 事務連絡

今後の予定

[副校長]

- ・第2回は文化祭、第3回は12月の学校説明会の際に予定している。
 - －第3回は部会にて評価をしてほしい。
- ・第4回は書面にて学校評価をしてほしい。